

実施計画事業管理表に対する総合計画審議会意見等について(案)
【個別計画に係る懇話会等で意見聴取をしたもの】

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
市民協働課	生涯学習推進事業	逗子市生涯学習推進懇話会	まちづくりに関する市民意識調査の結果を目標値とすることは、調査が行われない可能性があることから、適切ではない。 目標達成状況について「生涯学習に対する意識が高まりつつある」という感覚的な記載は望ましくない。評価をするのであれば、何らの指標に基づいて行われるべきであり、その評価結果は次の事業実施に活かされるものである必要がある。評価のための評価であってはならない。	目標設定については、意見として申し伝える。 達成状況を確認できるよう、実施結果としてずし楽習塾講座に参加した、受講生のアンケート結果において満足度が高かった旨記載する。 評価の区分を「目標が達成できた」と判断した理由として、ずし楽習塾が高い満足度を保っていること及び生涯学習ガイドブックが残らずに配布されていることを記載する。	11
文化スポーツ課	スポーツ振興事業	スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会	所管課の実績と自己評価の記入欄には、具体的な数値や事業の実施状況についての記述をしてほしい。市民は実績や評価を見る際、この部分でしか事業の状況を把握することが出来ない。また、懇話会に評価について意見を求めるならば、別途資料などを用意して行うべきだ。	次回以降対応できるように検討する。	15
			目標設定について「うみかぜクラブの登録会員数1000人」と単純に設定するのではなく、延べ参加者数や、種目数なども入れるべきだ。	新総合計画のもとでの目標設定もこれまで同様の「登録会員数1000人」としているが、それ以外の事業の内容も踏まえて、引き続き評価していく。	
			目標の数値は達成できなかったが、それ以外については、事業の目標は十分達成できたものと考えられる。所管の自己評価は適切と判断する。	(回答なし)	
	まちなかアカデミー創成事業	逗子市文化振興基本計画策定・推進会議	普通の市民には事業の見えていない部分が多いと思う。もっと見える化が必要だ。	まちなかアカデミー側に伝えていく。	19
			所管の自己評価は適切と判断する。	(回答なし)	

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表(資料1)ページ
文化スポーツ課	文化プラザホール管理運営事業	逗子市文化振興基本計画策定・推進会議	ホールの管理運営が指定管理者になり、昨年度までとサービス内容等が変わり、不便を感じることもある。管理運営者が変わっても、サービス内容や利用者への対応などについては大きく変わらないように、継続性を保つようにしてほしい。	もともと指定管理制度に移行する際に、サービス内容など大きく変化がないように移行するよう指定管理者にも求めている。伺ったことは、今後のモニタリングで指定管理者に対して指摘していく。	23
			毎月モニタリングを、ただ報告をきくだけでなく、ホールの問題とされる部分の改善につながるようなものにしてほしい。	承知した。そのようにモニタリングを実施していく。	
			所管課の自己評価については適切である。	(回答なし)	
	文化振興事業	逗子市文化振興基本計画策定・推進会議	逗子アートフェスティバル2014については、来場者だけでなく、出展者の満足度も重要である。	満足度については、引き続き、来場者・出展者とも調査していく。	27
			地域文化の振興について事業を実施したという点からすれば、評価は適切と考える。	(回答なし)	
	学校体育施設開放事業	スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会	事業自体の「方針変更」があったのであれば、評価は「目標は達成できなかった」ではなく「その他」が適切ではないか。	(懇話会内で多数決を取り、所管の自己評価のままでよいということになった)	31
「方針変更」があったために「目標は達成できなかった」としているが、学校開放自体は滞りなく実施されているので、その部分は評価してよい。			(回答なし)		
所管の自己評価は適切と判断する			(回答なし)		
社会福祉課	地域安心生活サポート事業	逗子市福祉プラン(逗子市地域福祉計画)・逗子市地域福祉活動計画懇話会	ボランティアで成り立っている地域(自治会等)に対し何らかの活動を求める場合は、必要な諸経費分の予算を組み、地域へ補助等するべき。地域は様々な事業を担っており、活動財源の確保が課題となっている。	意見を踏まえ、今後検討いたします。	35
			住民の負担感ばかりが膨らむことがないよう、自分たちの暮らしは自分たちで守るということをしっかりと伝え、やりがいを持って取り組んでもらえるような仕掛け(例えば地域が自らの活動を自己点検し評価する仕組みなど)の検討が必要。		

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
障がい福祉課	療育・教育の総合センター整備事業	逗子市療育推進事業検討会	療育・教育の総合センターに期待している方も多いと思われるので、これ以上は開設が遅れないように整備されたい。また、整備にあたっては、子どもが利用しやすいように配慮されたい。	整備にあたっては、逗子市療育推進事業検討会及び逗子市公共施設整備バリアフリー懇話会などからの意見を踏まえ、できるだけ子どもが利用しやすく、通いたくなるようなセンターにすべく、配慮して整備を進めてまいります。	43
			アクセス性が良くない場所に設置されるため、送迎の充実等について検討されたい。	送迎体制についても、できるだけ充実をしてまいります。	
			現在の通園事業を行っている事業者から新しい事業者へ変わることで、子どもや保護者が不安にならないよう、スムーズに移行されるよう配慮されたい。	現在の事業者から新しい事業者への引継期間を半年もうけ、その間に保護者と十分にコミュニケーションをとりながら信頼関係を築き、子どもや保護者に不安を感じさせないよう配慮してまいります。	
介護保険課	福祉給食サービス事業	逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	民間事業者は安否確認をしているのか？	民間事業者は、安否確認を行っている事業者と行っていない事業者があります。	51
			配食数が減っているが、なぜか？	コンビニ等での購入や、市内に利用可能な配食事業者の参入増加が考えられます。	
			ヘルパーが入る日は利用できないなどの制約はあると思うが、希望者が利用し易い方法を検討できないのか？	市の事業では、国の地域支援事業実施要綱の制約もあり、事前にアセスメントを実施しているため、配食を希望どおり提供できない場合があり、配食数を増やすことは容易ではありません。	
	生きがい推進事業	逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	市は、入浴手帳を配付した人に対し、自家風呂の有無や入浴助成に係るメリット等について、聴取しているのか？利用者アンケートを実施してはどうか？	利用者からの意見聴取は実施していないが、今後、利用目的などの項目も含めて、アンケートなど、どういう手法が良いか実施に向け検討いたします。	55
			公衆浴場へは、自家用車ではなく、徒歩で行く人もいることから、歩くことによる効果があり、また、仲間作り等、入浴だけではないと考える。		

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
子育て支援課	子育て支援センター運営事業	逗子市子ども子育て会議	「ママ友作り」や専門相談のネットワークが整っている。 子育て支援センターの利用者が相談の場として利用しているのか、単に親子の遊びの場として利用しているのか意識の差があるので、利用者数だけで相談の場が定着しているとは言い難い。しかし、遊びの中から親の困り感などの気づきにつながることもあるので、重要な事業である。保健師や関係相談機関、専門機関との連携を密にして、支援の必要な親子に手を差し伸べられる場になるよう期待する。 孤独孤立化する育児で悩む保護者(とくに母親)が多いなか、子育ての相談をしやすくなるよう、ほっとスペースからの誘導のように現在取り組まれている形で、なるべく敷居が低くなる方法が望ましい。	子育て支援センターは、子どもを遊ばせながら相談を聞くというスタイルをとっており、気軽に悩みや困り事を相談できる場所として活用されています。引き続き関係機関との連携を図り、対応を行ってまいります。	59

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
子育て支援課	小児生活習慣病予防事業	逗子市母子保健計画策定等検討会	生活習慣病の年少化を考えると受診率UPが望まれます。母子保健システム導入の成果に期待しています。	母子保健システムの導入により、乳幼児期からの経過を追い、早期からの生活習慣病予防啓発の資料として活用できるよう調整して参ります。	63
			受診勧奨の通知等の実施で受診率は上がったのか教えてください。	これまでの受診勧奨の通知では受診率は横ばいでした。より積極的かつ大胆な広報活動を行い、受診率が上がるようアイデアを募って参ります。	
			受診率が下がった理由についてリサーチは行ったのか？	受診率が下がった理由についてのリサーチは行っておりません。	
			2013年度の意見にあるように学校での受診が出来ると思う。	学校の協力をあおぎ、検討したいと存じます。	
			結果として受診率は目標値よりかなり低い。昨年度までの評価が「予定より遅れている」なのに、最終年度に突然、「未受診者に電話通知としたから目標が達成できた」というのは、理解できない。	目標値に達していない状況での「達成できた」とするには課内での議論もありましたが、大きな意味でこの22年間の事業成果という意味ではこのようにいたしました。	
			受診率向上の取り組みはされているが、目標の受診率85%につがっていない点について、検証が必要と思われる。	疾患などがあり、受診できる状況にない児童も母数に含まれていることがありました。そうした児童の取り扱いについても検証が必要と思われます。	
			母子保健システムの導入により、乳幼児健診の受診状況などリンクした評価ができることによる施策の反映が期待されます。	母子保健システムをさらに有効利用して効果的な機能を付加できれば、危険因子の分析などから、乳幼児期からのアプローチが可能となると考えております。	

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表(資料1)ページ
子育て支援課	放課後児童クラブ事業	逗子市子ども子育て会議	児童の第2の家庭として健全な育成と、安心・安全な生活が出来るように支援していただきたい。	放課後児童クラブ指導員研修を通じて、各放課後児童クラブの保育の質の向上を図るべく、研修内容の充実化を図ります。また、保護者会連絡会等の活用による課題の精査や、共有認識の醸成に努め、質の向上を図ります。	67
			保育の質を上げ途中退会を減らす取り組みをお願いします。		
			適正な人数規模かつ待機児童を出さないよう、よろしくお願いします。	市では施設の面積は、児童1人につきおおむね1.65㎡以上と定めているが、基準だけではなく、待機児童、現場の状況も勘案し、指定管理者との連携により、児童にとっても過ごしやすく、適正な人数規模での保育を実施します。	
			放課後児童クラブがすべての児童にとって、過ごしやすい環境に整備されることを期待する。		
			学童に子どもが通う保護者の一人として、子どもたちが学童ライフを楽しんでいる様子に大変満足している。学童や保育所を株式会社が経営することの批判があるが、結局は施設長・スタッフの「人」の資質が大事と思う(行政側でコントロールできないので悩ましい)。	放課後児童クラブ指導員研修を通じて、各放課後児童クラブの保育の質の向上を図るべく、研修内容の充実化を図ります。また、保護者会連絡会等の活用による課題の精査や、共有認識の醸成に努め、質の向上を図ります。	
子育て支援課	ほっとスペース事業	逗子市子ども子育て会議	利用者が増え、皆さんに周知されてきている動きが見えます。今後の発展に期待しています。	今後、各ほっとスペースが単に利用者数の増減のみに固執することなく、各ほっとの特色を活かしながら利用者にとって魅力ある施設になるよう日々改善を図ることで、利用者の満足度を高め、ひいては本市の子育て環境の底上げに寄与するよう事業を展開していきます。	71
			池子ほっとスペースを中心にした 更なる事業の充実を期待する。		
			利用人数ではなく、サービスの内容について目標が設定できるとよいと思います。		
			ほっとスペースがそれぞれ特色ある施設になると、親子がさらに楽しく通える雰囲気ができると思われる。横浜市の各区にある地域子育て支援拠点がそれぞれ特色ある施設や運営をされている事例を参考にしたい。		

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表(資料1)ページ
子育て支援課	親子遊びの場整備事業	逗子市子ども子育て会議	4団体に固定化している現状に周知活動の更なる努力を望みたい。	これまで運営費補助を行ってきた団体に対して財政的な自立を促す一方で、市内各地域で親子遊びの場の運営を始めようとしている団体に対しても当該事業の周知が図れる手法(例 子育てポータルサイトの活用 等)を用いる等の検討を行います。	75
			固定している団体へは異なるメニューも視野に入れ、すべての地区で近隣で活躍する団体の掘り起こしはできないか。		
			補助団体の固定化や事業の周知について更なる検討を望む。		
			固定された団体以外への周知で、広報のほか子育てサークル等への直接的働きかけが行えたら尚よい。		
子育て支援課	ふれあいスクール事業	逗子市子ども子育て会議	登録児童数と利用児童数の差を示してほしい。	平成26年度 ・逗小ふれスク 登録者数791人 延べ利用者数24,901人 ・久小ふれスク 登録者数570人 延べ利用者数14,504人 ・小坪小ふれスク 登録者数391人 延べ利用者数11,488人 ・沼小ふれスク 登録者数533人 延べ利用者数12,451人 ・池小ふれスク 登録者数316人 延べ利用者数9,089人 なお利用者の実数については、把握しておりません。	77
			利用人数ではなく、サービスの内容について目標が設定できるとよいと思います。	今後、各ふれあいスクールにおいても単に利用者数の増減のみに固執することなく、パートナーの発案による各ふれスクの特色を活かしたイベントを行うことで、利用者の満足度を高めていく。なお、引き続き各ふれスクによる情報交換の場を設けるとともに、定期的な人事異動によりふれスクの活性化並びに質の安定化を図ります。	
			ふれスクのサポーター皆さんが自ら企画するプログラムを増やしたり(企画があると参加児童が増える)、学童や地域との連携、他校との情報共有を深めることができると尚よい。		

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
児童青少年課	児童館機能を有する施設整備事業	逗子学生懇話会(通称 スマイル学生委員会) (旧 児童館的施設 検討子ども懇話会)	懇話会メンバーの増	市内学校を始めとした、幅広いメンバー勧誘の実施をいたします。	81
			懇話会の企画・運営による講座・イベントの開催	引き続き懇話会の企画運営による講座・イベントの実施をいたします。	
			懇話会への補助金又は交付金の支出	予算化の検討をいたします。	
まちづくり課	計画的なまちづくり推進事業	逗子市まちづくり審議会	市民参加、市民主体のまちづくりの推進を図る「地区まちづくり計画」「テーマ型まちづくり計画」を具体化できるよう、両制度の柔軟な運用、まちづくりの専門家やサポーター派遣制度の充実や見直しを行うなど、制度の活用が図られるような検討を行うことが望ましい。	地区まちづくり計画は、制度創設から13年経過しており、近年は一般市民に向けた広報はしてこなかったため、今後は定期的に制度利用を促す広報活動を行います。	91
			都市計画法に基づく最低敷地規模の導入に向けた検討については、逗子市の良好な居住環境の維持を図る上で重要な制度と認識しつつも、これまで出された多様な市民意見なども踏まえ、最低敷地規模制度の基準を見直し、あるいは対象範囲等を段階的にするなどの内部検討を行ったことは妥当性が認められる。 今後は、各地域の特性を踏まえ、あるいは人口減少などの環境変化にも配慮しつつ、検討成果を丁寧に市民等に説明しながら、制度の趣旨が生かされるよう一層の努力を図られたい。	敷地面積の最低限度の制度導入については、新総合計画の個別計画と整合を図りながら、制度導入に向けた検討を進めます。	

事業担当課名	実施計画事業名	個別計画に係る懇話会等の名称	意見・質問	所管回答欄	管理表 (資料1) ページ
まちづくり課	景観のまちづくり推進事業	逗子市景観審議会	目標としていた重点地区のガイドライン(歴史的景観保全地区、逗子駅周辺地区、東逗子駅周辺地区)を策定し、運用している点は評価される。しかし、一歩進んで景観計画区域全体の景観審査の状況、3地区の運用状況や、審議会等の開催状況も記載すべきでないか。	○3重点地区における個々の運用状況、審査状況の進捗管理を行い、景観計画の見直しに向けて検討をしていきます。また、市域全体での景観審査について、その審査状況を審議会の開催状況と併せて記載していきます。 ○景観啓発冊子「まちなみデザイン逗子」の受賞を契機に、さらなる普及啓発のための体制作りを検討します。また、景観アドバイザー制度を活用し、景観について幅広い世代に対して普及活動を行っていきます。	95
			目標達成と同時に、2013年度からは普及啓発を新たな目標とし、力を入れ始めたが、今後は普及啓発の体制作りが課題である。		
			「まちなみデザイン逗子」が都市景観大賞優秀賞を受賞したことは高く評価される。		
			景観形成重点地区の3地区における個々の景観計画の運用について、全体の実績を積み上げ、運用上の課題を抽出し、景観計画の見直しに向けて検討する(PDCAサイクルに向けていく)プロセスが必要である。		
社会教育課	古墳整備事業	国指定史跡長柄桜山古墳群整備検討会	第1号墳の計画工事期間(7カ年)を短縮できないか。また完成後の活用方法等も検討すべきである。	立地条件による施工性の悪さ及び予算上の制約等があるが、葉山町と協調し、可能なかぎり工期短縮を図るとともに、有効な活用方法の検討を進めたい。	131